

< 競技注意事項 >

1. 体調不良やその他症状がある場合は無理に出場しないこと。
2. 感染防止につとめ、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンスを徹底すること。
3. 招集は、完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。
4. 招集に遅れた者は、棄権として出場させない。
5. ナンバーは、胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍競技は胸・背部のいずれかでもよい。トラック種目に出場する者は、競技者係から渡された腰ナンバーを必ず右腰後方につけること。
競技用具は、棒高跳用ポールの他は会場備え付けのものを使用することを基本とする。
6. 検定を受けた用具以外は練習用としても競技場内に持ち込んではいならない。
トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドを用い、不正出発（フライング）は、1回で失格とする。
8. 投てき練習は、危険防止のため競技開始前に審判の指示によって行う。
9. 練習場は補助グラウンドとする。ただし、投てきの練習を禁ずる。
10. 優勝者に賞状および選手権章を授与する。
11. 記録証を必要とする者は、本部へ申し出ること。（記録証代1000円）
12. 予選を行う種目において、予選が不必要になった場合は、番組編成をやり直し、決勝の時刻に決勝を行う。
13. 跳躍競技のバーの上げ方は以下のとおりとする。

男子走高跳	開始	1 m 8 0	1 m 8 5	2 m 0 0 まで 5 c m	以降 3 c m
女子走高跳	開始	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 7 0 まで 5 c m	以降 3 c m
男子棒高跳	開始	4 m 0 0	以降 1 0 c m		
女子棒高跳	開始	2 m 5 0	以降 1 0 c m		

14. フィールド種目のスパイク・シューズの規定について
原則として検定は行わないが、世界陸連のランキングポイントが付与されないため、必要な場合は事前に申告し検定を受けること。
15. 5000mWは、スタート後男子26分、女子30分を越えて次の周回には入れないものとする。

< 審判員の方々へお願い >

1. 審判員が手薄であります。補助員業務も含め審判員相互にご協力の程お願い申し上げます。
また、感染防止につとめ用器具の消毒や選手のコントロールも含め指示をお願いします。
2. 主任の方は、競技終了後に小物等は器具庫へ返却するよう補助員へ指導してください。
3. 投擲器具・バトンについては、必ず用器具係りにお願いし、審判員による出し入れはしないようにしてください。

本大会の各種目上位6名（リレーは6チーム）は、関東陸上競技選手権大会への出場権を有する。（ただし、混成競技は上位3名とする）
関東選手権出場希望者は、決勝終了後1時間までに出場の意思表示を、受付ですること。また、本大会終了までに必要書類と参加料を添えて大会本部係まで申し込むこと。